

# 令和元年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料5-3

（ センターの名称：鶴嶺東地区地域包括支援センター さくら ）

| 国評価<br>(3/31時点) |    | 市評価<br>(3/31時点) |    |
|-----------------|----|-----------------|----|
| ○               | ×  | ○               | ×  |
| 50個             | 5個 | 10個             | 0個 |

|                        |   |
|------------------------|---|
| 地域包括<br>支援センター<br>自己評価 | <p>令和元年度事業計画に基づき事業運営を行い、地域包括ケアシステムの推進に向けて取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援としては、民生委員定例会やボランティアセンター勉強会の協力をしました。</li> <li>・地域サロン活動の支援を継続し、高齢者の健康増進に関する相談を受けました。又自主事業の運動教室（すこやかクラブ）を継続しています。</li> <li>・地域ケア会議は2回の個別会議を通して、専門職に参加依頼し支援体制や連携の充実を中心に開催しました。</li> <li>・虐待や処遇困難ケースの支援に対し適切な支援ができるよう、職員間で共有、課題分析や整理を行い行政と適切に連携が取れるようにしました。</li> <li>・認知症の方の支援として、会議や研修に協力しました。</li> </ul> |
|------------------------|---|



|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 基幹型包括<br>ヒアリングの<br>ポイント及び<br>結果 | <p>【ヒアリング実施日】令和2年6月26日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に基づき、着実に事業を実施し、全体として目標を達成できている。</li> <li>・国評価の個人情報持出時の管理について、平成30年度の課題となっていたが、令和元年度は持ち出し簿の作成、運用がされ、改善が行われている。</li> <li>・国評価の包括的継続的ケアマネジメントの項目について、平成30年度の評価結果を踏まえ、令和元年度は事例検討会の開催、サロンや自主事業での講座の開催などの取組が行われ、評価に反映されている。</li> <li>・国評価の地域ケア会議では、個別課題の解決のための検討を行い、地区ボランティアセンター、保健所、警察などの関係機関との連携を図ることにより、地域での生活が安心して継続できるよう、支援が実施されている。</li> </ul> |
|---------------------------------|---|



推進委員会に、地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、報告し、意見徴収を行う。



|              |  |
|--------------|--|
| 茅ヶ崎市<br>総合評価 |  |
|--------------|--|

\* 市としての総合評価は、推進委員会の意見等を踏まえ、決定する。